

平成30年度 第1回丸瀬布地域まちづくり会議

日時 平成30年11月14日（水）18時30分～
場所 丸瀬布コミュニティセンター多目的ホール

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 平成30年度まちづくり会議の進め方について【資料1】
- 4 平成29年度まちづくり会議の振り返り【資料2-1】【資料2-2】
- 5 平成29年度まちづくり会議提言項目に対する町の考え方【資料3】
- 6 意見交換
- 7 次期まちづくり会議への申し送り事項について
- 8 その他
- 9 閉会

まちづくり会議委員名簿

(敬称略、50音順)

| 生田原地域 | 遠軽地域 | 丸瀬布地域 | 白滝地域 |
|--------|--------|--------|---------|
| 遠藤 麻由 | 生出 竜也 | 上野 善博 | 岩城 健綱 |
| 大柳 清美 | 大平 芳人 | 管野 浩太郎 | 内河 智美 |
| 杉本 一幸 | 斉藤 晴行 | 須藤 奈都美 | 江面 陽子 |
| 高橋 淳 | 斉藤 ひとみ | 佐竹 聡子 | 大久保 真由美 |
| 多賀 憲雄 | 竹之内 義文 | 鈴木 幹雄 | 今野 政男 |
| 舟木 廣隆 | 橋口 理教 | 関 弘 | 中村 祥嗣 |
| 堀江 都 | 平野 由美子 | 谷口 寿康 | 的場 秀太 |
| 由利 敏之 | 藤田 琴絵 | 塘 秀克 | 古寺 博 |
| 渡部 正騎 | 宮崎 良公 | 能正 あすか | 矢木 優 |
| 和田 あさみ | 村上 武志 | 柳田 友之 | 山崎 幸治 |

任期：平成28年9月1日～平成31年3月31日

会長及び副会長名簿

| 地域名 | 会長 | 副会長 |
|-------|-------|---------|
| 生田原地域 | 舟木 廣隆 | 杉本 一幸 |
| 遠軽地域 | 宮崎 良公 | 大平 芳人 |
| 丸瀬布地域 | 柳田 友之 | 上野 善博 |
| 白滝地域 | 矢木 優 | 大久保 真由美 |

(参考資料) まちづくり会議について

まちづくり会議とは

まちづくり会議は、遠軽町まちづくり自治基本条例（平成19年条例第9号）第32条の規定により、町民のまちづくりへの参画機会の拡充に努めるとともに、同条例前文に規定する「活力に満ち、ゆとりと豊かさの実感できる住みよい遠軽町」を創造するため、各地域に設置するものです。

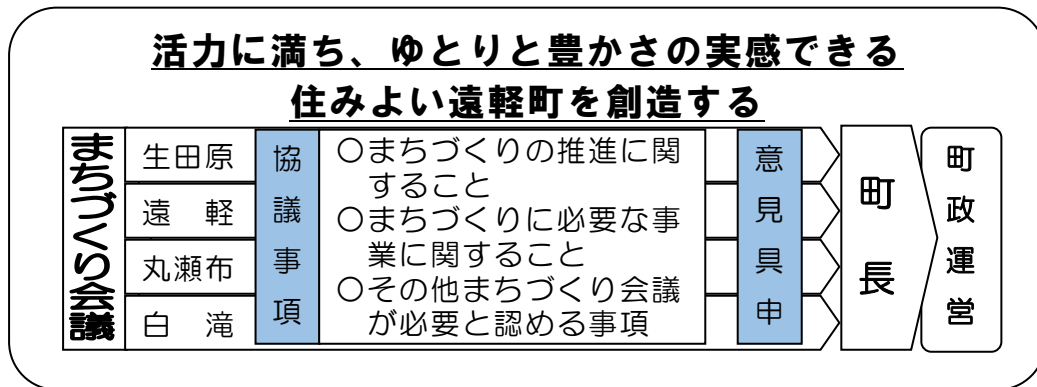
○遠軽町まちづくり自治基本条例抜粋

前文
わたくしたちは、北海道の屋根と呼ばれる大雪山系から広がる豊かな森林（もり）と、オホーツク海に注ぐ清流（みず）「湧別川、生田原川」の流れとともに歩む遠軽の町民です。
（略）
わたくしたちは、まちづくりの全般にわたる指針として、基本となる理念や原則を明らかにするとともに、町民の町政への参画と協働に関する事項を定めることにより、住民自治を実現し、活力に満ち、ゆとりと豊かさの実感できる住みよい遠軽町を創っていくことを誓います。
ここに、すべての町民に共有され、遵守される最高規範として、この条例を制定します。

（参画及び協働）
第32条 町は、町民の意見等がまちづくりに反映されるよう町民の町政への参画機会の拡充に努めなければならない。
2 町は、協働のまちづくりを推進するにあたっては、対等・協力の原則に基づき、目的及び情報を共有し、相互理解のもとに信頼関係を築くよう努めなければならない。

まちづくり会議の所掌事務

まちづくり会議では、まちづくりの推進に関することやまちづくりに必要な事業に関すること等を協議し、町長に意見を述べます。



(参考資料)

遠軽町まちづくり会議要綱（平成28年遠軽町告示第6号）

(設置)

第1条 活力に満ち、ゆとりと豊かさの実感できる住みよい遠軽町を創造するため、まちづくり会議を置く。

(名称及び設置地域)

第2条 まちづくり会議の名称及び設置する地域（以下「地域」という。）は、次のとおりとする。

| 名称 | 地域 |
|--------------|----------|
| 生田原地域まちづくり会議 | 旧生田原町の区域 |
| 遠軽地域まちづくり会議 | 旧遠軽町の区域 |
| 丸瀬布地域まちづくり会議 | 旧丸瀬布町の区域 |
| 白滝地域まちづくり会議 | 旧白滝村の区域 |

(所掌事務)

第3条 まちづくり会議は、次に掲げる事項について協議し、町長に意見を述べることができる。

- (1) まちづくりの推進に関すること。
- (2) まちづくりに必要な事業に関すること。
- (3) その他まちづくり会議が必要と認める事項

(定数)

第4条 まちづくり会議の委員（以下「委員」という。）は、それぞれ10人以内とする。

(組織)

第5条 まちづくり会議は、当該地域内に住所を有する者又は事業所等に勤務する者で、次に掲げるものをもって組織する。

- (1) まちづくりに関し識見を有する者
- (2) 公募による者
- (3) その他町長が必要と認める者

(委嘱)

第6条 委員は、町長が委嘱する。

2 町長は、委員に欠員が生じたときは、補欠の委員を委嘱することができる。

(任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 町長は、前項の規定にかかわらず、特別の理由があるときは、任期中においても委員の職を解くことができる。

(会長及び副会長)

第8条 まちづくり会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、まちづくり会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第9条 まちづくり会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 会長は、必要に応じて、委員以外の者を会議に出席させ、意見を述べさせることができる。

5 会議は、協議する内容が公開することに適しないと認めるものを除き、公開とする。

6 この会議のほか、必要に応じて各地域の委員の代表による全体会議を開催することができる。

(報償費)

第10条 委員が会議に出席したときは、報償費を支払うものとする。

2 報償費は、遠軽町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(平成17年遠軽町条例第38号)の例により支払うものとする。

(庶務)

第11条 まちづくり会議の庶務は、総務部企画課及び各総合支所地域住民課において処理する。

(雑則)

第12条 この告示に定めるもののほか、まちづくり会議の運営に関し必要な事項は、会長がまちづくり会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成28年4月1日から施行する。

(有効期限)

2 この告示は、平成33年3月31日限り失効する。

(任期の特例)

3 この告示の施行後最初に委嘱された委員の任期は、第7条の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。